

多久

TAKU



第1回 多久百景コンテスト応募作品／腰鼓のひびき

議会だより

平成29年
9月定例会
第34号
8月臨時会

目次 contents

主な議案 ▶ P2
議案質疑 ▶ P3
審査報告 ▶ P4

一般質問 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ P7
議会活動報告・意見交換会 ▶ P12

主な議事日程

9月 27日	開会・提案理由説明
28～29日	議案研究
10月 2日	議案質疑
3～6日 10～11日	委員会審査
13・16日	一般質問
17日	討論・採決・閉会

平成29年9月市議会定例会は9月27日～10月17日まで(会期21日間)開かれました。

今回は9人の議員が市政一般に対する質問を行いました。
また、市長から提出されました議案19件(条例1件、予算7件、決算10件、その他1件)の議案について審議し、いずれも原案どおり可決・認定したほか、議会提出議案3件を可決しました。

主な議案

平成28年度

多久市一般会計歳入歳出決算

歳入額 133億5594万円
歳出額 130億903万円

※歳入歳出の差引額の3億4691万円から次年度繰越財源の4301万円を差し引いた実質収支3億390万円が黒字決算となります。

平成29年度 補正予算

防犯灯設置事業

防犯協会へ防犯灯設置支援補助金 22万円

地域防災システム構築事業

防災システムの構築事業 1728万7000円

東原庫舎西溪校遊具更新事業

東原庫舎西溪校に設置されている遊具の撤去及び新設 829万5000円

現年発生農地災害復旧事業

7月6日発生の豪雨災害復旧工事(9箇所、17工区) 1788万円



現年発生農業用施設災害復旧事業

7月6日発生の豪雨災害復旧工事(5箇所) 1580万円



人事案件

●多久市教育委員会委員の任命
野方徳浩氏を多久市教育委員会委員任命に同意いたしました。

●人権擁護委員の推薦
尾形邦彦氏、小野茂氏を人権擁護委員候補者の推薦に同意いたしました。

8月臨時会

温泉保養宿泊施設建築及び設備改修工事の請負契約の一部変更について

●建築改修契約金額変更
(前) 6億7425万8040円
(後) 6億9655万1400円

●設備改修契約金額変更
(前) 9億5961万3480円
(後) 10億1904万5880円





議案乙号
第28号

平成28年度多久市一般
会計歳入歳出決算の認
定について

平間 智治

農業振興費、負担金補助及び交付金
について

質問 6つの事業の事業内容と実績
及び財源は。

答弁 ▼青年農業者研修事業費補助
金5万円（市費）、市内の次代を
担う青年農業者組織が栽培技術の
向上、農産物の高付加価値、販路
拡大などの知識習得のための先進
地視察研修に対する補助金。JA



さが佐城青年部の多久支部が行った農業の適正使用等について福岡の農業会社で研修を行っています。

▼さが園芸農業者育成対策事業費補助金151万9000円（3分の1県費・10分の1市費）、魅力ある産業として発展するために、園芸農業者の所得向上に向けた収量、品質の向上や低コスト化、規模拡大など、収益性の高い園芸農業者の確立に必要な施設、機械等の整備を目的に行う事業に要する経費。ハウスの長寿命化で3件、剪定枝粉碎機購入で1件の助成を行っています。



▼園芸農業振興研修補助金5万円（市費）、生産農家の経営効率化と販売力向上を図るため、生産力向

上及び経営の改善を目指した有益な事業に対しての補助金。多久市野菜花卉連絡協議会が行った、佐賀県農業試験研究センター、西日本種センターでの研修。

▼露地みかん振興対策事業補助金36万4666円（市費）、県が実施するさが果樹産地強化対策事業、マルチの資材導入に要する経費に

対しての補助、多久みかん生産組合が実施した313・5a、実施者は26名。

▼その他、新規就農・経営継承総合支援事業及び、直接支払推進事業を行っています。

議案乙号
第38号

平成29年度多久市一般
会計補正予算（第4号）
について

中島 慶子

災害対策費、地域防災システムに要する経費1728万7000円について

質問 予算の詳細と事業の内容は、また、減災につながる活用策は。

答弁 情報通信技術利活用事業費補助金（地域IoT実装推進事業）を活用して行うものです。予算につ



ては、システムの構築に要する経費とシステムを活用した災害対策本部の運営の訓練等の支援に要する委託料として1536万1000円、タブレット等備品の購入費、その他通信運搬費や国への事業報告等の旅費となっています。

この事業は、G空間地域防災システムをベースに、多久市防災システムとして構築します。災害時はG空間情報技術を活用し、災害対策本部の意思決定への高度化や迅速化を支援するシステムとして活用していきます。

減災につながる活用策として、情

報等を時系列的に確認ができ、対応状況等もシステムで確認ができることから、対応漏れを防ぐ効果もあります。

平 間 智 治

質問 活断層についての防災情報は、維持管理をどうしていくのか。

答弁 政府の地震調査研究推進本部が選定している主要活断層帯として、県内では佐賀平野北縁断層帯、日向峠ー小笠木峠断層帯があり、この情報を防災システムへ揺れやすさマップとして取り込んでいきたいと考えています。

維持管理については、システムのバージョンアップや、ライセンス料、通信費、クラウドの使用料等で年間100万円程度の維持管理費が必要で、備品等、タブレットとかパソコン等も、経年更新等が必要になります。

中 島 慶 子

質問 西溪校現有施設（遊具）の状況等もシステムで確認ができることから、対応漏れを防ぐ効果もあります。

質問 西溪校現有施設（遊具）の状況等もシステムで確認ができることから、対応漏れを防ぐ効果もあります。



況、予算の詳細、安全面の配慮、管理について。

答弁 3カ所に設置している遊具は、いずれも設置後20年以上が経過していて、専門業者による安全点検を実施した結果、危険と判断された遊具は、平成28年10月から使用を中止しています。

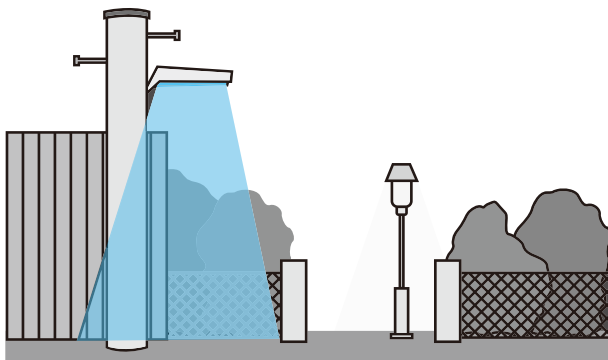
予算の詳細と工事内容は、財源は一般財源となり、撤去工事217万1000円、新設工事612万4000円で、合計829万5000円を予定しています。工事は、既存遊具を全て撤去し、新しい遊具を設置します。新しく設置する遊具は、職員室前に単品遊具を5台、滑り台、ブランコ、ジャングルジム、4連鉄棒、5連鉄棒を設置します。

安全面について、職員室から見渡すことができ、かつ今後計画しているプールの改修工事にも不都合がない位置に設置します。

田 淵 厚

質問 防災に要する経費、防犯灯設置特別補助金22万円について

答弁 防犯協会へ防犯灯支援のための補助金とあるが詳細は。市内の通学路で、下校時に暗い場所への防犯灯設置の検討をしているのか。この事業は今後継続するのか。



答弁 防犯協会で防犯灯の設置助成を事業として取り組んでいただいています。その財源として市より防犯協会へ45万円の補助金を支出しています。

新設の要望があるにもかかわらず、予算枠内に入らなかった分について、今回特別補助金という形で設置できるように追加の支援をしたいと考えています。

下校時に暗い場所への防犯灯設置の検討は、小中一貫校が始まるタイミングに、各学校と協議し、約80基の防犯灯を追加で設置をしました。防犯灯の設置が必要な箇所については、教育委員会と協議しながら検討を行っています。この事業の継続については、必要があれば追加分の特別補助金という形で行っていきます。

予算特別委員会
審査報告



平成29年度多久市一般会計
補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ1億1523万4000円の増額で、予算の総額は



127億8280万6000円となります。

審査の過程で、財源としてふるさと応援寄附金を増やすために、例えば返礼品の検討など策を講じてもらいたいとの意見や来年開催予定の幕末維新博覧会にあたり多くの偉人を主催者側にどうアピールされたのかなどの質問がありました。が、全会一致により本案を原案どおり承認することに決定しました。

総務文教委員会 審査報告



多久市税条例の一部を改正する条例

平成29年地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律の施行に伴い、多久市の税条例の一部を改正するものです。

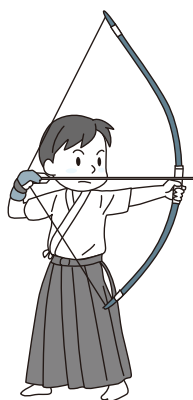
主な改正点は、1点目は固定資産税の特例に関する改正で、具体的には保育事業における待機児童問題を解消するため、一定の事業の用に供する施設に、その家屋及び償却資産について課税特例を設けるものです。

2点目は災害の復旧・復興に資するため税制上の対応を手当てし、関係する既定の常設化を行うもので、具体的には、被災代替家屋・償却資産に係る特例措置の創設と、被災住宅用地に係る特例措置の拡充などの改正です。

この他にも法改正に併せた所要の整備も行われています。

総務文教委員会継続審査について

平成35年第78回国民体育大会の佐賀県での開催が決定し、多久市が弓道の競技会場として内定を受けたこと、学校において台風接近やインフルエンザ流行などで臨時休校や学年閉鎖などが余儀なくされていることを受け、授業時間の確保が急務であること、人口減少や既存の建築物の老朽化、社会的ニーズの変化に伴い空き家等が年々増加しており、適切な管理が行われず、地域住民の生活環境に深刻な影響を与えていることから、「国民体育大会に向けた弓道場整備について」「学校の夏休み短縮について」「空き家対策について」を閉会中の継続審査事項とし、それぞれの審査事項を、担当課より計画や



進捗状況、課題・問題点などの説明を受けました。また、国民体育大会に向けた弓道場整備について弓道競技の概要や施設、整備後の運営や課題・問題点など多久市弓道連盟と意見交換会などを行いました。

審査事項の内容に合わせて、平成27年に2015紀ノ国わかやま国体で弓道の会場となった田辺市立弓道場と不良空家の除去に係る補助金の交付事業など特定空家の除去に取り組まれている和歌山市を視察しました。

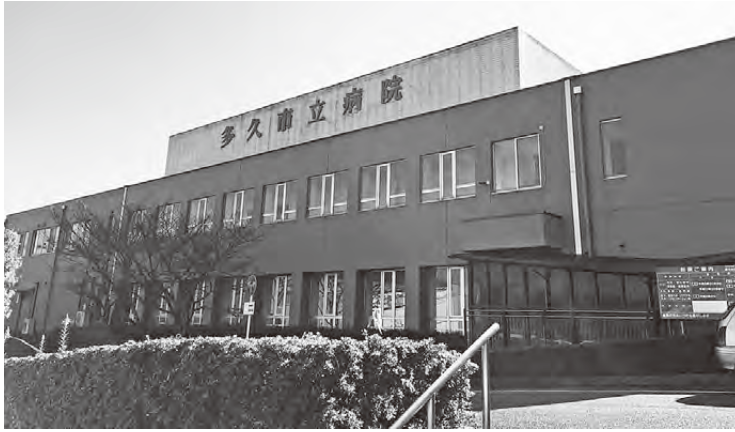
産業厚生委員会 閉会中審査報告



8月4日、17日、31日に委員会を開催しました。

市政の様々な課題が委員より出されましたが、当面は「市立病院の今後のあり方」について調査・検討を行うことに決定しました。

多久・小城地区自治体病院再編・ネットワーク研究会より、多久市立病院・小城市民病院を統合し、新たな病院を設立することが最も望ましい選択肢との報告がなされました。



今後は多久・小城の両市で病院統合に関する協議が行われますが、委員会としては、地域医療や自治体病院のあり方も含めて総合的に調査・検討を行っていくこととし、市立病院事務局より病院統合再編の必要性について説明を受け、課題等について意見交換を行いました。

今後は類似した事例について行政視察を予定しています。

決算特別委員会 審査報告



平成28年度多久市一般会計歳入歳出決算、特別会計7議案、企業会計2議案について原案どおり認定することに決定しました。

なお審査の過程で、一般会計では、空家対策について現在是对象物件の調査表をつくり、対策フローに従い対応されるということです。緊急を要する案件と、それ以外の案件を分けて対応するべきとの意見がありました。また、土地区画整理事業では、計画を一旦終結するために一部計画変更し、その後は街路事業で対応するという考えとのことでしたが、地権者との交渉は丁寧に行うよう意見がなされています。

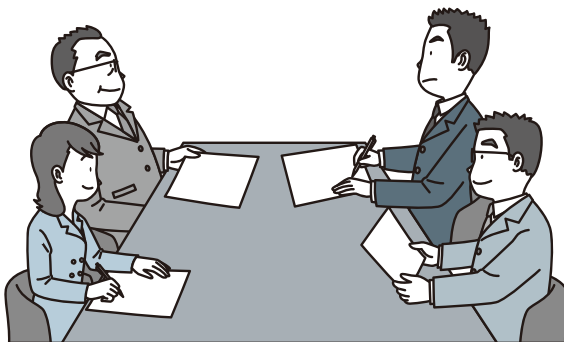
国民健康保険事業特別会計決算収支については、前年に引き続き一般会計から赤字補填の繰入が実施されていますが、4354万9935円の赤字決算となっています。

議会提出議案



多久市議会会議規則の一部を改正する規則

多久市議会では様々な協議会等を実施し、議案の審査や議会の運営について協議、調整を行っており、議会活動の範囲を明確にするためにこれらを規定するものです。



多久市議会議員の議員報酬及び費用弁償等支給条例の一部を改正する条例

多久市議会の議員報酬及び費用弁償等支給条例の特例を定める条例

長期にわたり市議会の会議を欠席した場合、議員が議員報酬や期末手当を辞退または返還することは、公職選挙法上、寄附行為に当たするため禁止されています。

議員の死亡により職務実態がなくなった場合、または議員が長期にわたって議会活動や議員活動ができなくなった場合に、職務実態に応じて議員報酬を減額できるよう規定するものです。



9月定例会では9名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。

なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。

市政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、市長などに方針を問うものです。



角田 一彦

道路問題について

角田 近年、市道の舗装補修が進まない理由は何か。

答弁 小規模であれば、その場で職員や委託業者により補修を行っています。また、職員の対応を超えるものは、維持補修や舗装補修等の契約業者等に対応しています。しかし、限られた財源、予算の範囲で対応していますので、要望全てに必ずしも即お応えできるという状況ではない面もあります。



角田 市道宮ノ前・天ヶ瀬・井上線などで落石防止看板が設置されているが防護柵等の対策が必要では。

答弁 落石の恐れがある全ての路線に対策を施すには多額の費用が必要となります。しかしながら、通行の安全確保は必要ですので、危険度の高い路線から順次、安全対策を講じるように努力したいと思っています。

筑後川下流土地改良事業について

角田 事業の進捗状況について。

答弁 通水試験が実施されていて、附帯施設の整備もあわせ、平成30年度に事業完了予定となっています。

角田 導水事業費の負担について、平成16年に導水事業費市負担分7億5000万円と聞いていたが、国の事業から県の事業に移行されるに当たって市の負担がどのように変化したのか。

答弁 概算での合計で約5億7800万円が多久市の負担金額となります。

角田 受益者の負担について、この導水事業によって組合費等、地権者が負担するのか、小作者が負担するのか、反当たりどの程度の負担金があるのか。

答弁 事業費に係る受益者負担はありませんが、維持管理の運営について佐賀西部土地改良区に引き継がれ受益者には賦課金を負担いただくこととなります。賦課金は10a当たり1100円ですが農業振興、負担軽減を図るため10a当たり400円を助成し700円の賦課金を負担いただきます。



國信 好永

市長職6期目の方針について

國信 定住人口の増加を図るための新たな政策はどうか。

答弁 これまでも住宅団地の開発、定住奨励の事業、また、企業誘致などに努めてきました。住宅団地につきましては、中央公園東が平成29年6月に全28戸を分譲完了し、第2期分譲地の開発を計画しています。企業誘致にも引き続き力を入れていますが、新たに組みこんでいるシェアリングエコノミーにつきましては、働く機会の確保や定住につながる可能性を感じているところです。

國信 多久市立病院と小城市民病院の統合を含めて協議の進捗状況について。

答弁 今年3月に策定した多久市病院改革プランで両自治体病院の統合と新病院の設立を目指して、協議を行うとしています。そのため両市で病院と企画部門を交えた事務打ち合わせを行っています。

國信 市内につながるアクセス道路の整備はどのように考えているか。

答弁 国道203号線につきましては、



は、(仮称)佐賀ジャンクションまでの15km区間のうち、(仮称)三日月インターチェンジまでの約5kmにつきまして、今年度より測量設計が行われる予定です。市内の県道の整備については、現在、県道多久・若木線、別府・牛津停車場線などにおいて事業が行われています。

國信 332号線、多久側の状況は狭い道路ですが、小城市側では道路幅が広くきれいに整備してある。その違いは何か。

答弁 この区間につきましては、以前より改良を要する区間として改良計画がありましたが、地元の合意が得られず現在に至っているところですので。

國信 トンネル開通後は交通量も増え危険であり早急な対応を。



飯守 康洋

第4次多久市総合計画(後期基本計画)生涯学習体制の充実と学習活動の推進、「市立図書館活動の充実」に関して

飯守 多久市図書館整備基本構想(案)の位置付け、新図書館の基本理念・方針・サービス・機能等について。

答弁 多久市図書館整備基本構想(案)は、多久市立図書館のあり方懇話会から新図書館の目指すものとしての提言を踏まえ、市立図書館のあるべき姿として策定したものです。図書館整備に関する基本理念、基本方針は、市民に愛され、利用される図書館の実現を目標に定め、今後の図書館建設基本設計や開館後の運営指針になります。

基本理念として、ゆつくりと心豊かに過ごす憩いの場として、さまざまな世代、地域の方が居心地良く過ごす交流の拠点として周辺環境の充実にも配慮した図書館を目指しています。また、図書館利用が困難な方への読書機会を提供するため、移動図書館車を導入します。移動図書館

車は貸し出し返却システム機器を搭載し、市内5町の地区公民館等を巡回します。

新図書館蔵書は、12万冊を想定しています。内容は、子育て環境の充実をテーマとしていることから、乳幼児期から読書に親しむ環境づくりのための絵本や児童図書の充実を図り、利用ニーズに応じた蔵書収集を行います。

建築場所は、5つの条件を考慮した結果、多久北部運動広場が候補地として望ましいとの結論に至りました。

運営については、自治体直営による管理運営、図書館業務の一部委託、指定管理者制度の導入の管理運営形態について、それぞれの利点や課題について比較、整理を行い検討しています。





田中英行

多久市公営住宅について

田中 市公営住宅の高層階に住む高齢者や病気に伴う低層階への住替えの取り組みは。

答弁 低層階への住替え要望については、過去に数件ご相談がありましたが、住替えの取り組みを行っていなかったため、実現していません。また、住替えについての実施要領は現在のところ策定していません。

田中 希望者がいる中に住替えの実施要領をなぜ作らなかったのか。

答弁 市公営住宅は一般向け住宅となっていて、幅広い年齢層を対象に住宅に困窮する低所得者に対して入居ができるようにしております。また、住替え部屋の改修費用や入居希望などの関係で、現在まで実施要領は策定していません。

田中 今後入居または住替えを希望する方の登録制は考えられないか。



答弁 高齢化が進む中、低層階への住替えを希望される方も増えることが予想されますので、入居者の予備登録と同じように、住替えの予備登録を検討していく必要があると考えています。

農業問題について

田中 平成30年度以降、減反政策がなくなるが、市の取り組みは。

答弁 市としても、県農業再生協議会から示される米の生産調整の方針をもとにして、飼料用米や麦、大豆などに対する国の支援制度を踏まえ、市とJAや関係団体で構成します多久市農業再生協議会において、主食用の米、飼料用の米、麦、大豆などの作付目標を定めました水田フル活用ビジョンを策定し、現在と同様に米の生産調整を含めた水田農業対策の方針を提示することを考えています。

田中 減反による荒れた中山間地域への手だては。

答弁 飼料用米や飼料作物を中心に作付を推進するとともに、ソバや菜種、また野菜などについても、産地交付金を活用し、栽培適地での作付推進に取り組んでいます。



平間智治

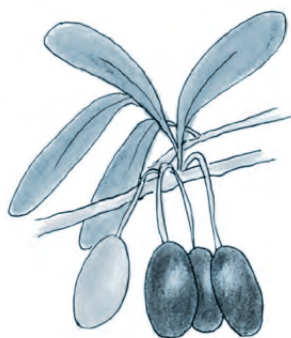
オリーブ事業の取り組みについて

平間 みかん農家の耕作放棄地および予備軍の現状は。

答弁 市内の耕作放棄地の面積ですが、平成29年3月31日現在で112・4ha、このうち樹園地が89haで、全体のうちの79%に当たります。

平間 ①オリーブは手間がかからない②生産性が高い③日本国内のオリーブ市場が追い付かない状況にある、などの利点があります。中山間地域に適した次世代の農産物として、荒廃農地解消と地域活性化のため、市の特産物としてオリーブ事業の取り組みを。

答弁 県や農業改良普及センター、



農協等の関係機関、意欲のある農業者の協力が必要です。多久市が栽培に適地であり、可能であるということがわかりますと、事業推進としては可能ではないかと考えています。

平間 みかん農家の転作および新規就農に対するオリーブの苗木の補助ができないか。

答弁 栽培環境が整っていない現時点においては、考えていません。

農福連携について

平間 農福連携に対する多久市の農業と福祉の側から見たそれぞれの認識は。

答弁 高齢化と過疎化といった問題を抱える農業農村地域にとっては、働き手の確保や地域農業の維持につながり、また、障害者の方々にとっては、働く場の選択肢が増えるというメリット、健康や精神状態への好ましい影響など、双方にとって利益が期待されると思います。

平間 就労率アップや賃金アップなど、今後の取り組みは。

答弁 企業等に働きかけ、障害者就労施設等からの優先的な調達の推進、障害者就労施設からの物品の購入や、公園など市有地の管理といった役割を優先的に調達するなど、引き続き支援を行っています。



田 淵 厚

インフラ設備以外の公共施設について

田淵 公共施設の現状で建物30年以上経過のもの、また、その中で避難所数はどれくらいあるのか。

答弁 建物は102施設で、30年以上経過のものは42施設、総延べ床面積の38%になり、その中で避難所となっているのは4施設あります。

田淵 公共施設計画は2056年までの40年間で、将来の更新費用で建て替え費が274億円、大規模改修費が291億3000万円、合計5



65億3000万円になる。今、新たに建築中または計画中の図書館、弓道場、武道場、市立病院等の試算は。

答弁 あいばれっと、市立病院は現在の規模で試算に含まれ、タクア、クリーンセンター、弓道場は含まれていません。

田淵 人口減少で税収が減少傾向で、逆に扶助費が伸びている状況。これからの施設維持が心配、その対策は。

答弁 実質的金額では予算上厳しく、そういう部分には統廃合、複合化などで平準化を行っていきます。

田淵 平成24年全国市区町村1人当たりの延べ床面積は3・42㎡。多久市と同規模人口の平均面積は5・86㎡、多久市は7・01㎡。多久は多い状況、1人当たりの建物にかかる年間管理費はいくらか。また、平成52年で1万6000人になると予測があるが将来の負担額はどうか。

答弁 平成28年度の決算では、電気料などの運営費を含まないで、1人当たり6794円です。今後の維持管理や人口推計は不明な分もありますが、人口減が2割ですから、2割上がるかなと考えています。

田淵 人口減、少子高齢化の中、建物の更新、大規模改修の方針、統廃合、撤去はある程度市民に知らせてほしいと思います。



中 島 慶 子

防災行政体制の充実と推進について

中島 防災行政無線の点検・整備は。また、現在の運用状況は。

答弁 専門の業者と保守委託業務契約を締結し、定期的な点検を実施し、防災関係の緊急放送、緊急を要する行政放送、定時の放送を行っていません。

中島 防災の日に合わせて、各種災害想定での防災訓練の実施は。

答弁 今後、大規模災害を想定した住民参加型の避難訓練、避難所運営訓練の実施を検討し、避難所単位での訓練を市内各地区で行っていきたいと思います。



中島 市内河川に水位計の設置は。

答弁 市内に13カ所設置されています。その他の河川については、簡易

な水位計の実証実験等を行い有効性等が確認できれば増設の検討をしたいと思っています。

中島 防災ガイド・タイムラインの作成は。

答弁 多久市版防災ガイドブックとして取りまとめ、市民の皆様へお届けしたいと考えています。

温泉保養宿泊施設「タクア」について

中島 観光振興・市の経済活性化等々が期待されていると思うが、タクアへの今後の市の関与は。

答弁 観光マップやグルメマップを利用した情報の発信、観光協会や関係団体とも連携をしたイベントなど、協力、連携、協議などをしていきたいと考えています。

中島 直行便等、利用しやすい交通手段についての検討は。

答弁 独自の直行バスの運行については、現時点では考えていないというのですが、宴会目的などの15人以上の団体客については、送迎バスの計画をされています。

中島 老人福祉センター「むつみ荘」はどのような運用となっていくのか。

答弁 市民サービスが低下しないように、タクアと十分協議を行っていききたいと思います。



野口 義光

公共施設等総合管理計画について

野口 建築物の建て替え計画には、北多久町公民館は含まれているのか。

答弁 1978年建築でありますので、改修・更新費用の計画には含まれています。今後の個別計画策定に当たりましては、現有施設の利用状況、必要性などを勘案し、検討していきます。

野口 土木インフラについて。

答弁 多久市の橋梁長寿命化修繕計画を平成22年度に策定し、平成24年度より事業に着手しています。平成29年3月現在の市内の管理橋梁数は286橋梁となっていて、修繕の進捗状況は、今年度施工分を含め31橋



梁が完了する予定です。

多久市橋梁長寿命化計画では財政負担の低減を図るため事業費の平準化により、多少の事業費の変動はありますが、事業費にピークが生じないように計画をしています。

今後は、今年度終了する定期点検の結果をもとに事業計画や事業費の検討を行い、新たな多久市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、公共施設等総合管理計画の行動計画に反映をしていきたいと考えています。

農業の振興について

野口 基幹産業である農業施策は。

答弁 市としては、国や県の事業を活用し、農地や農道の整備、維持管理に関する対策を行うとともに、作物の栽培の振興、販売の促進をあわせて行っていく、農業収入の拡大に結びつけることが必要であり、重要であると考えています。このため、行政のみならず、JAなどの生産者団体と連携した取り組みが不可欠であり、生産者が意欲を持って取り組んでいただけるような方策を今後とも協力し合いながら進めていきます。新しい施策としても、今後、新年度予算等で検討していきます。人材育成や新たな活性化についても積極的に模索していきます。



古賀 公彦

足裏診断について

古賀 特別委員会「子育て支援策に関する提言（足裏診断事業）」後の市の対応について。

答弁 多久市保育協議会が取り組んでいる足裏診断事業を、小学校までの事業の継承と多久市の取り組みとして行うことについて検討をとのことでした。

29年度は、公益財団法人金子財団の事業採択を受けているので、多久市としては、次年度以降に向けて、提言にあった、保育園の年少から前期課程（小学校）2年生までの診断、事業自体を短期で行うか長期で行うかを、事業効果を見ながら取り組んでいくか検討しています。足裏診断事業は子どもの健康づくり、体力づくり、学力向上にも貢献できると考えます。



中心市街地活性化について

古賀 中心市街地活性化の取り組みと、その効果は。

答弁 平成23年度から27年度を計画期間として、第2期の都市再生整備計画による魅力ある多世代交流拠点都市づくりを目標に、社会資本整備総合交付金等を活用し取り組んできました。

施設整備として主なものは、山犬原川親水護岸整備工事、多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」建設整備、多久駅北口雨よけ通路の整備や情報案内板設置などを行い、まちづくり活動推進事業として、専門家の支援を受け、まちづくり協議会を開催し、また、多久駅前の未利用地の活用や土地の付加価値の向上を目的とした社会実験も行いました。その効果について、分析調査を行い、エリア内の店舗数は、平成22年度66店舗、平成28年8月調査では2店舗少ない64店舗でした。駅北側の歩行者通行量は、平成22年度235人に対して、平成28年10月調査では目標値352人に対して2・62倍の921人となっています。

議会活動報告



教育委員会表彰 (11/2・市役所)



市政功労者表彰 (11/3・市役所)

多久市PTA連合会と市議会議員との 意見交換会

9月に多久市PTA連合会の役員の皆さんと議員との意見交換会を行いました。

One for All, All for All Smiles



議会改革について

- ・議会改革答申を読んで感じるが、定数削減（1減）とは相容れないのでは。
- ・夜間の議会を開催してほしい。（日曜議会や子ども議会）
- ・今の議員の環境・待遇では、今の仕事を辞めてまで議員はできない。

学校関係では

学校給食や給食費・部活動のありかたについて・スクールバスについて・夏休みの短縮についてなど、現役の保護者の皆さんから、たくさんの意見をいただくことができました。議員として保護者・地域の意見をより強く伝えていきます。また、重要なテーマについては議会として取り組んでまいります。

委員
野口 香月
義正 正則
野田 北樹
悟 厚

委員長
樺島 永一郎

副委員長
服部 奈津美

議会広報委員会



平成29年度 議会報告会への ご参加ありがとうございます。

今回、お聞きした、たくさんのご意見を参考にし、これから議会活動に活かしていきます。

